

EE_Raceway 7.2 の新機能

2003/05/30

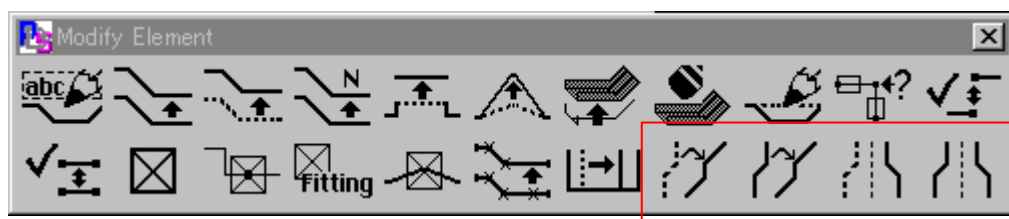
1 Rotate・Mirror コマンドの追加

Version7.2 から、回転・ミラー等のコマンドが新たに追加されました。

以下のコマンドにより、個々の回転やミラー、グループ単位での移動や回転、ミラー等の操作が可能となります。

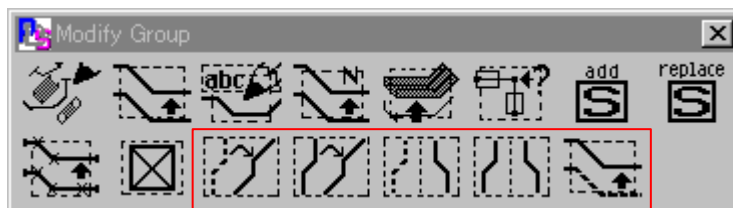
Modify Element パレット

1. Rotate Element
2. Rotate/Copy Element
3. Mirror Element
4. Mirror/Copy Element

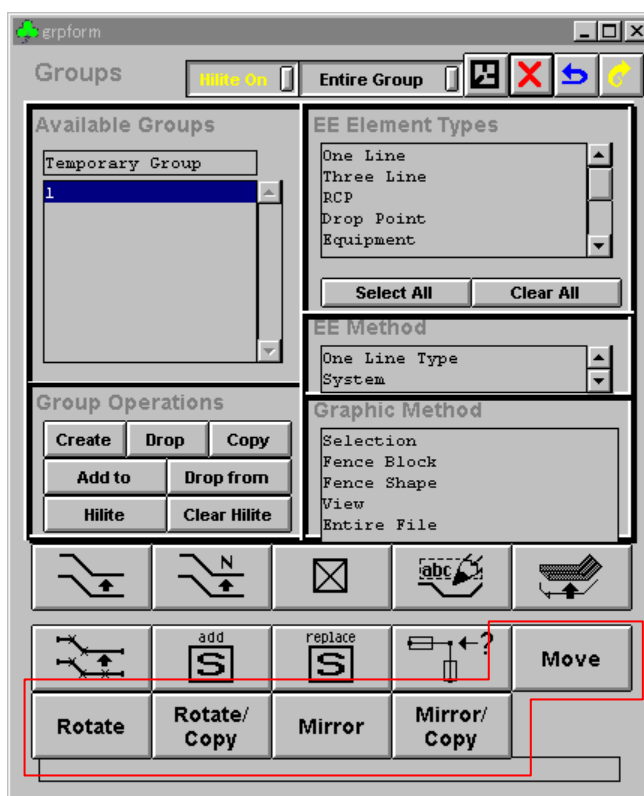


Modify Group パレット

1. Rotate Elements by Group
2. Rotate/Copy Elements by Group
3. Mirror Elements by Group
4. Mirror/Copy Elements by Group
5. Move Elements by Group

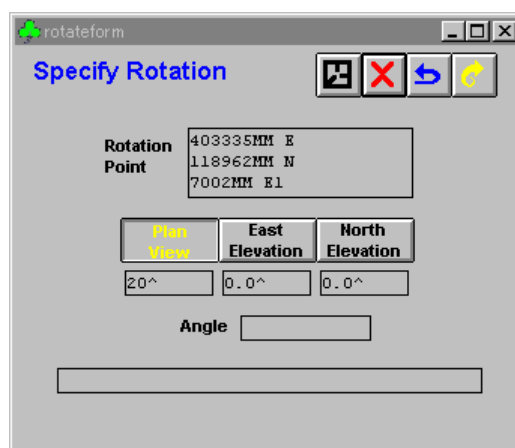


Define Group フォーム



Rotate に関する使用方法

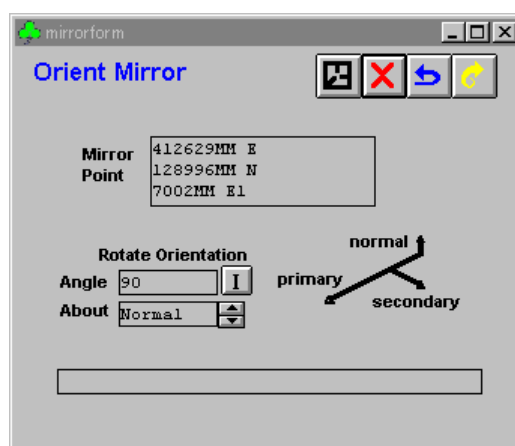
1. Rotate あるいは Rotate/Copy のコマンドを選択します。
2. 回転させる One-Line (あるいはグループ) を選択し、Data ボタンで確定します。
3. 回転軸となるポイントを選択します。
4. Specify Rotation フォームが表示されます。



5. 回転面(Plan View 等)を選択します。
6. Angle のフィールドに角度を入力し、Tab キーで値をセットします。(Enter キーは使わないで下さい)
7. Confirm すると実行されます。

Mirror に関する使用方法

1. Mirror あるいは Mirror/Copy のコマンドを選択します。
2. 反転させる One-Line (あるいはグループ) を選択し、Data ボタンで確定します。
3. 反転軸となるポイントを選択します。
4. Orient Mirror フォームが表示され、画面上には Tee が表示されます。



5. Tee の Primary を反転させたい側に向け、Secondary を任意に設定します。
6. Confirm すると実行されます。

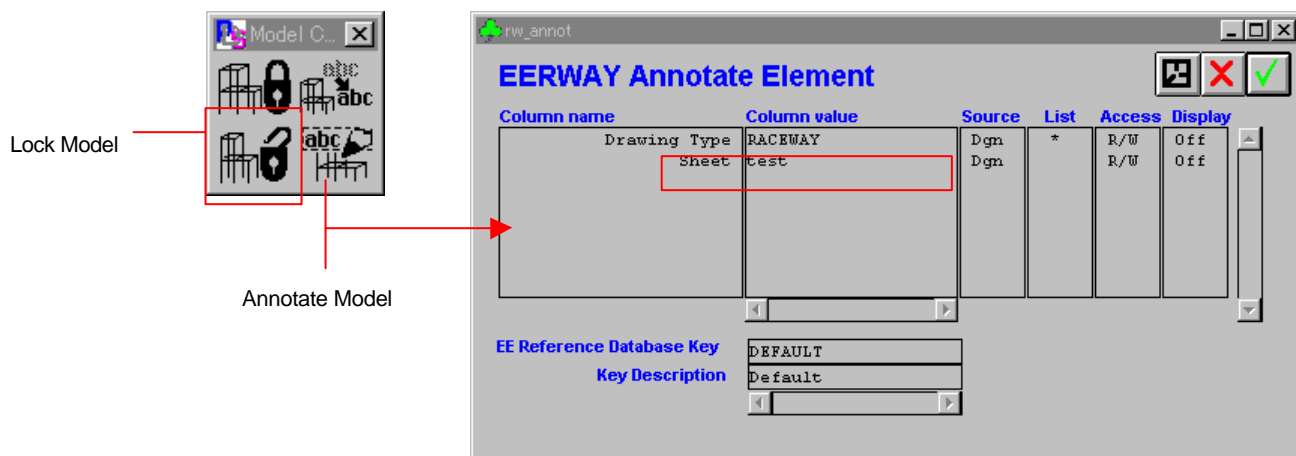
Move Group の使用方法

1. Move Group コマンドか、Define Group フォーム上の Move を選択します。
2. プロンプト上に示されたグループ名でよければ Data ボタンで確定します。
3. 移動の起点を決定します。
4. 配置ポイントとして移動先の座標もしくは移動距離を指定します。(Move To、Move を使用して設定します。)
5. Confirm すると実行されます。

2 シート名の自動設定

デザインファイルの情報を DB にロードする際、これまでは以下の手順が必要となりました。

1. モデルをロック
2. シート名を設定
3. シート名を画面以上にアノテート

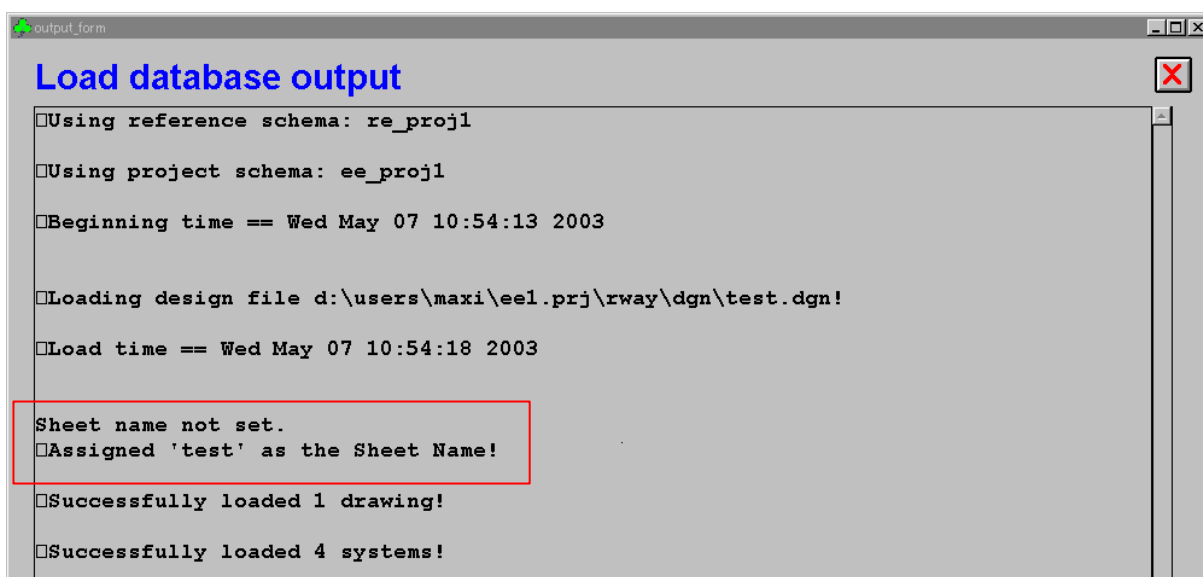


4. Load Database を実行



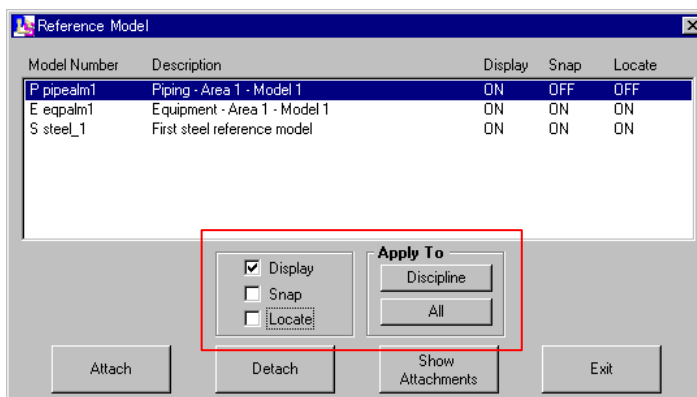
Version7.2 からは、シート名を設定を行わずに Load Database を実行することが可能です。その際、シート名は自動的にデザインファイルの名称と同じ名前に設定されます。(あとからの変更は可能)。

また、画面上へのシート名のアノテートが必要ありません。

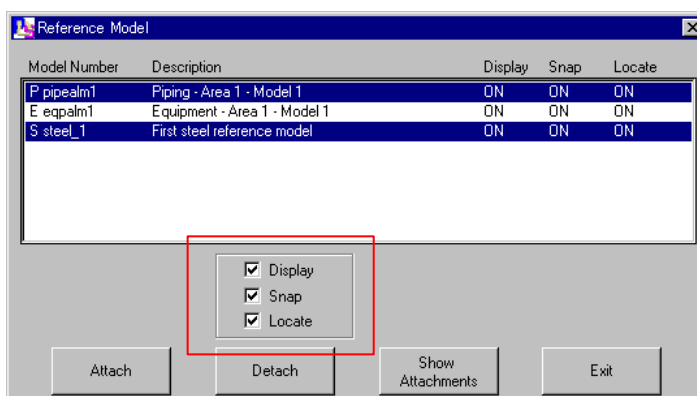


3 Reference Files 機能の拡張

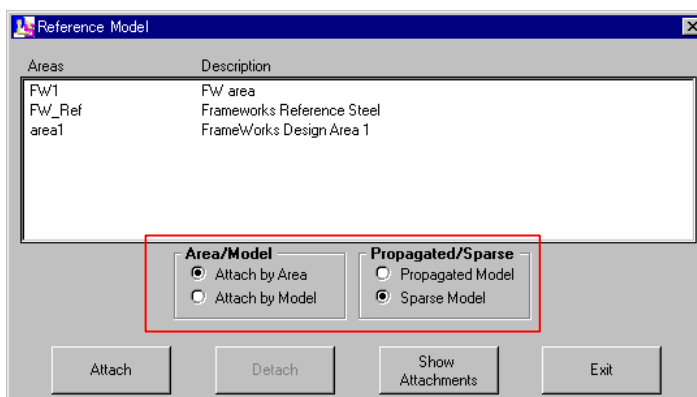
1. リファレンスモデルの Display/Snap/Locate の設定を、すべてのリファレンスモデルに適用、あるいは選択されたモデルのディシプリンに属するすべてのリファレンスモデルに適用させることが可能になりました。



2. リファレンスモデルの Display/Snap/Locate の設定を、複数選択したリファレンスモデルの組合せに適用させることが可能になりました。



3. Attached by Area/Model オプションの設定、Propagated/Sparse Model オプションの現時点の設定が、セッションの終了後にも維持されます。
(これまででは Attached by Area、Sparse Model がデフォルトで選択されていました。)



4 Panel テーブルへの属性の追加

EE_Raceway のプロジェクトデータベース (ee_schema) の Panel テーブルに、xyz 座標の属性のカラムが増えました。これはマニュアルで追加する必要があります。

追加できる属性

pds_east、 pds_north、 pds_elev

追加方法

古いバージョンで作成された Panel テーブルをアップデートする必要があります。アップデートには C:\win32app\ingr\EENUC\bin に置かれている "ee72upg.exe" を使用します。

1. EE Configure を起動し、追加するプロジェクトデータベースのスキーマ名 (ee_schema) を設定します。
2. EERD_TBLS、PROJECT_LOCATION の変数についても適切に設定します。
3. "ee72upg.exe" を実行することでカラムが追加されます。

Panel テーブルは、Light Fixture や Electrical equipment 等の部品が配置されたときに格納されるテーブルです。